新京日日新聞 夕刊 十二月十四日(火)

滿洲國馬政局 全國馬事調査に着手

完成次第改良諸施設を行ふ

滿洲國馬政局では馬事智識の普及及び國産馬匹の『改良』に全力を注いでゐるが現在滿洲國に於ては馬籍も登記されて居らず馬に關する資料が皆無なので今回全滿に亘つて詳細なる馬事調査を行ふこととなり、既に本月初旬馬政局第三科長安達馬政官、中島、近藤技正以下數名の屬官がハイラルに向ひ第一期調査に着手するに至つた、第一期調査は興安省東、北兩分省、黒龍江省並に北鐵東部線沿線附近を十二月末までに、第二期調査は明春一月より熱河省奉天省、興安南分省及び吉林省南部を二月頃までに行ふことに決定して居る、尚ほ今回の調査に依つて國内に於ける正確な馬匹數、その販路並に如何なる方面に力を注ぐべきか等に就て正確な『資料』を得た上國内數ケ所に改良、衛生及び防疫施設並に種馬所を設けることゝなつてゐる

大ハルビン建設に

二百萬圓の金融株式會社創設か

〔ハルビン十三日發國通〕グレート、ハルビンの人口は益々增加の傾向にあり、これと同時に反面には家屋の拂底を告げつゝある結果内外人經營のホテルは常に殆んど滿員の盛況振りを示し旅館業者はホクホクの態であるが、一方ハルビンには尚上下水道なく近代都市としての施設に幾多の不備の點あるため之が加速度的改善を圖る目的で資本金二百萬圓の金融株式會社創設の議が起つてゐる、右金融株式會社は大ハルビン建設各事業及び家屋建築事業に融資することを目的とするものであると言ふが、これが實現の曉は國際都市たるハルビンは急角度に面目を一新して名實共に大大阪の縮圖を現出するに至るだらうと言はれてゐる

日滿電報料金

現狀維持で進む 拓務、遞信兩省と諒解成つて前田氏歸任

〔東京十三日發國通〕日滿電報料金問題で上京中の滿洲電信電話會社の前田營業部長は拓務、遞信兩省と協議の結果料金は現狀を維持することに諒解成立し十八日神戸發歸任することになつた

オイルシエールの本工業化近し

來年度から實現

〔大連十三日發國通〕撫順炭坑のオイル、シエール工業は目下試驗工業に屬する石炭液化製品を今夏より市場に賣り出し、現在年二千噸の生産高であるが來年度から愈よ本工業化すべく同工場技術員名嘉地氏は目下渡米、機械購入中で來年一月歸任の筈である、資本金及び生産高は未だ發表に至らないが現在重油は主に海軍側に供給して居り單價も相當高價であるが今後重油のガソリン化で用途の擴大に依るコストの引上げも可能であり且つ國防工業の一つとしてガソリン及び重油の自給自足は一九三六年の危機に處する所以で多大の期待が懸けられて居る、尚現在重油の生産高は年十萬噸で其の何割かが本工業に依り液化されるわけである

好評のシカゴ萬國博覽會再開

〔東京十三日發國通〕世界の人氣を集めたシカゴ萬國博覽會は十二日盛會裡に終了したが博覽會は豫想外の好成績を納めたので各方面よりの再度開會の要望高きによりドーズ博覽會總裁は再開を當局に申請すると共に開會費豫算を提出したが直ちに當局の容れるところとなり明年六月シカゴに於て同博覽會を再開する事となつた

通商審議會 第二回委員會開催

〔東京十三日發國通〕外務通商審議會第二回委員會は午後一時總理官邸に廣田會長以下委員出席、開催されたが、來栖局長より

一、我商品の進出に對する諸外國のボイコツト手段を緩和する輸出統制其他の方策の意見如何

一、諸外國との通商條約關係を改善する關税制度の意見如何

一、本邦商權の維持及び助長の爲め片貿易の調節其他の方策意見如何

と質問し、具体的につき意見の交換をげつた

東株整理案商工省に提出

證券會社の資本金は三百萬圓に變更

〔東京十三日發國通〕長崎東株理事は十三日午前九時商工省に川久保商務局長、藤間取引課長を訪問し東株整理案を提出した、右整理案内容は既報の通りであるが證券會社の資本金は三百萬圓に變更されたい、商工省では午後四時省議を開き對策を協議したが結局容認されるにしても尚相當の迂餘曲折は免れぬものと見られて居る

西洋威信の失墜

エドガースノー論説

イヴニングポスト紙掲載（四）

かく論じ來れば經濟的制裁は歐洲諸國を必然的に錯誤の陷穽に陷し込む事になる

列國は支那國民黨の安全を期し聯盟の日本に對して下した審判を勵行する爲めに第一日本への強制手段として軍隊軍需品空軍を極東に輸送して支那を防禦するの用意を有するか第二新情勢を獲得したる日本の勝利を承認して彼等の三百代言的の役を抛棄するのかが終局の義務である

兎に角列強は極東に於ける彼等の東洋殖民地に對し彼等の支配安定性に重大脅威を感じては居るけれども彼等歐洲の政治家は一般國民をして行動にまで奮起せしむるに至るだけの充分な具体的何物をも發見し得ないのである、歐洲人の戰爭に對する反感をして面目なども云ふ曖昧な事の爲めに極東の戰場に於て喜んで死なしめ得る事は出來ない相談である。今日から見れば滿洲事變の如きものが戰爭の契機となるなども眞面目に考へ又は感ぜられる種の國民は居ない筈だ

最近の英國上院及下院に於ける議事を見るも發言者の何れもが聲を大にして戰爭に導くと想像出來る如何なる懲罰的方策も日本に對して取る事に不同意なることを力説して居るではないか實際極左派から極右派に至るまでそうである他の歐洲諸國の政府も經濟的制裁なども眞面目に吟味して居る國はないのである

現米國政府議會は彼の經濟復興とか云ふ問題に專心して居てたとへ戰爭と云ふ危險が含まれて居ないとしても世界貿易を傷ける如きものは如何なる方策も考慮するの暇も無いであらう

勝に乘じ聯盟に對する表面上の忠誠羈絆を既に脱した日本「サムライ」は亞細亞奧地深く突入して外交的假面は消滅するであらう

既に今日に於て獲得したる東三省東部内蒙古と共に鞏固なる基礎を作り先鋒は將に西部内蒙古及西部支那に侵入しつゝあるの狀態である

内政會議に政府熱意無し
陸軍部內の對政府意見硬化
陸相の態度がみもの

（東京十四日發國通）內政會議延期に對し、陸軍部內は、「高橋藏相の豫算査定多忙を理由とするのは意外千萬である、藏相の多忙を今になつて理由とする政府は急に方針轉換したものか或は最初から內政會議に熱意を有しなかつたもので、議案樹立に眞劍でない事を示したものである」結局內政會議は有耶無耶に終るものと觀る外はない」との見解で斯る場合陸軍部內の空氣は容易に抑へ難きものたるべく內閣との關係惡化を極度に回避しつゝあつた荒木陸相自身も遂に今日の態度を持續する事は不可能の立場に立つを餘儀なくされるであらう

海軍航空隊
本年末より耐寒飛行擧行

（館山十三日發國通）館山海軍航空隊は從來南方航路開拓に力を注いでゐたが根室航空隊開設を機として北方航路開拓に着手する事になり十二月下旬より來春にかけ長時間の根室間耐寒飛行の訓練を行ふ事となつた、尙指揮官、操縦者は詮衡中である

上智大學と曉星中學
詭證文で現役將校を配屬さる

（東京十四日發國通）昨年秋靖國神社參拜拒絕問題から配屬將校を引揚げられた上智大學と曉星中學は、これが爲學校騷動を惹き起し、兩校當局もその非を認め陸軍當局に五ケ條の詭證文を入れ、十三日から再び現役將校を配屬される事となつた

「一切の階級鬪爭を除去したい」
八聖殿開殿に際し安達總裁呼びかく

（横濱十三日發國通）安達國同總裁が本牧に建てた八聖殿は十三日午前十時半開殿式を行ひ齋藤首相、一條實孝公、細川護立侯、頭山滿、床次竹次郎、秋田淸、小泉策太郎、小橋一太の諸氏等朝野の名士五百餘名列席した席上安達總裁は建立の經過を述べ社會へ向け左の如く呼びかけた

一、國家觀念の敎化を鼓吹したい
一、忠孝仁義を說きたい
一、青年に神に誓ふ事を奬勵したい
一、一切の階級鬪爭を除去したい

と述べ正午式を閉じた

內政閣議頓挫
閣內意見一致せず
後藤案は今會議に反映せず

（東京十三日發國通）內政閣議は閣內に於て不滿あり、諸問題に對する根本的意見の相違から前後二回の閣議にすら不滿反映され、肝心の高橋藏相の出席なく會議を續けるも意味をなさず、机上の空論を重ねるのみで反對論が閣內に滿ち內政會議は早くも頓坐し豫算閣議が終了して高橋藏相の出席する下旬迄會議休會の已むなきに至つた、斯くて後藤農相の農村振興案は明年豫算に關係するものが多いから從つて明年豫算には內政閣議の趣旨は反映されぬ譯である

ナチス政府
聯邦制を廢止せん

（ベルリン十三日發國通）十二日のドイツ總選擧並に人民投票の結果はナチスの歷史的大勝利に歸し各所の政治收容所に於ても大部分の收容者がナチス贊成の投票を行つたのでヒットラー政府は大いに氣を好くしヒットラー首相に對する信頼の輝かしい實證を記念し之等政治的犯人の大赦を行ふだらうと觀られてゐる、尙ヒットラー政府が絕對的に國民の信頼を確保した結果ヒットラー首相は近く今後に於ける其の經綸を發表するものと觀られてゐるが、政府は既に廣汎な憲法改正の計畫を樹てゝゐるが先づ差當つてとるべき方策としては聯邦制度を廢止し現在の各邦の代りにフランスと同じく縣の制度を採用する案でこれにより從來の永年に亘る各邦分縣制度を終焉に至らしめ總べてプロシヤ主權の下に一切の統治權を統轄せんとする模樣である

佛紙極論
ナチス勝利に對し

（パリ十三日發國通）ドイツ總選擧並びに人民投票の結果がナチスの大勝に終つたことに對してフランスの各新聞紙は頗る悲觀的な態度をとり今やドイツ的襟持が甦りつゝあると述べ、某紙の如きはフランスは戰爭を阻止する爲めドイツを占領すべしとさへ極論してゐる、一般にイタリーが聯盟を見捨てゝ親獨的態度を執りはしないかと氣遣はれてゐる

豫算に對する
藏相の裁斷は十四日
閣議上程は十七日

（東京十四日發國通）大藏省豫算省議中の最難關である陸海軍豫算審議に重ねて藏相の健康が長時間の會議に堪えず意外に長時日を費し既に回を重ねること十三回と言ふ前例無き長期に亘つたが愈よ十四日で省議は終る模樣である、即ち藏相の政治的裁斷も十四日に下されるが、これが如何なる程度のものかは豫測を許さず、陸海軍併せて新規要求八億圓に主計局の半額查定主義が覆へされることは勿論であり、陸軍作戰資材整備經費、滿洲事件費、海軍の第二次補充計畫、艦艇改裝費を主要經費とし相當の承認の膨脹をみるは疑ひの無いところである、尙藏相の裁斷後も計數整理、印刷等に長時間を要する故豫算閣議の日取りは大體十七日頃と觀られてゐる

谷參事官東上前
小磯參謀長と要談

小磯參謀長は十三日午後四時大使館に谷參事官を訪ひ會談時餘に亙り何事か協議するところあつたが同日上京の豫定であつた參謀長は突如上京見合せとなり谷參事官は愈よ十四日午後十時新京發上京することゝ決定した、尙ほ本會見に於て兩者間に在滿機關の統制確立並に滿鐵の改組等懸案諸問題に關し最後的重要打合せを遂げたもののやうである

利付爲替利率
六分に變更

（ジャバ十三日發國通）正金支店の利付爲替手形利率は從來の年七分を六分に變更し、同日實施したと

滿鐵改組案は
關東軍と滿鐵で協議中
成案次第報告すと
陸相、首相に述ぶ

（東京十三日發國通）荒木陸相は閣議後齋藤首相に招かれ內政會議は中止するも農村對策は非常時局に必須なるもの故來年度豫算に是非共組み入れる事を希望し、滿鐵改組案は目下軍部と關東軍で協議中であるから成案を得れば報告すると述べ、多く語らず三時十分辭去した

關東廳案は潛越至極だ
在滿機關改革案に對する陸軍當局の見解

（東京十三日發國通）在滿機關改革案に就き關東廳案として傳へられるものに對し、陸軍中央部は關東軍と滿鐵間に協議中の滿鐵改組案は原案すら決定せぬものを關東長官たる軍司令官の隷下にある關東廳局長が獨自の案を提出する等は潛越極まるものだ

十三日發令された滿鐵人事異動

（大連十三日發國通）滿鐵商事部淸水庶務課長の滿洲國中央銀行入りに伴ひ商事部は十三日左の異動を發表した

依願免　商事部庶務課長　淸水覺太郎
命庶務課長　奉天販賣事務所長　岩田保次郎
命奉天販賣事務所長　新京販賣事務所　磯野治作
命商事部地方係主任
命新京販賣事務所長　安東販賣事務所　久松治
命安東販賣事務所長　安東販賣事務所　永井功
命商事部地方係主任　渡邊義雄

滿鐵社員
登格者決る

（大連十三日發國通）滿鐵總務部人事課長は社員登格詮衡中のところ總務部、計畫、經理、東京支社の分が決定したので十月十六日に遡り同日附發令したが、事務員登格者は經理部四名、雇員登格者は計畫部三十三名、經理部八名、東京支社一名、總務部十六名である

鐵路總局員の詮衡終る
內地で募集した

（大連十三日發國通）滿鐵より鐵道省に依囑して募集中であつた鐵路總局員七百名、建設局二百名は大體詮衡を終つたので土肥人事課長は古賀人事主任を伴ひ、十五日發飛行機で待遇、給料其他細目的取極めの爲上京する事になつたが東京滯在は約一個月で明年度採用の大學、專門學校技術系卒業者百七十名の採用試驗を行ふ由

執行猶豫の四名
近く滿洲國に就職か
軍籍は海軍省から除かる

（東京十三日發國通）海軍被告の判決確定後古賀、三上、中村、山岸、村上、黑岩の各被告は海軍々人の分限を停止され禁錮三年以下の大庭、林、塚野、伊東の各被告は軍籍を剝奪されぬが海軍省では剝奪に內定、又塚野大尉の恩給は停止されることに內定した、尙執行猶豫の四名は滿洲國某位置に聘かれる模樣で目下交涉中である

海軍被告官位を剝奪され
近く小菅刑務所へ

（東京十三日國通）五・一五海軍側被告中既報の四名を除き殘る禁錮十五年の古賀、三上兩中尉と同十三年の黑岩豫備少尉、同十年の中村、山岸兩中尉、村山少尉等は直ちに既決囚として服役することになるのであるが六氏とも何れも法の命ずるところに從ひ官位を剝奪されて通常人となつたので身柄は普通刑務所に移すことが通例になつてゐるので近く海軍々法會議と司法省行刑局と打合せの上服役の場所を決定することゝなつてゐるが行刑局の意向としては陸軍側被告同樣一時豐多摩刑務所に移し懲役十年以上の刑を受けるものゝ收容される小菅刑務所に移すことに決定した模樣である、尙ほ行刑局では現在豐多摩刑務所に服役中の陸軍側被告十一名は健康保持のためフットボール、金棒等の運動をなさしめ成績が良いので海軍側被告にも之を行はしめる筈である

日本側の最後案に
印度側愼重
關稅改正臨時議會延期さる

（デリー十三日發國通）印度政府は曩に準備銀行法を附議すべき臨時議會の召集を企圖とし、日印會商の結果により關稅率改正問題等をも併せ上程する筈であり、會議を廿一日迄二週間延期したが、最近の情勢は日本側の最後案が印度にとり意外な問題で愼重なる態度をとり、殊に綿布數量問題はランカシヤ紡績業者の意向のみで提案されたもの故目下英國に於て諮問されてゐるが具體的決定は廿一日の議會には間に合はず結局議會開會は更に來月五日頃迄約二週間再延期されると觀られてゐる

何の爲めか
ソ聯上海で豚肉の大買物

（ハルビン十三日發國通）當地露字新聞の報ずるところによればソ聯側は最近俄かに上海方面で豚肉の大々的買付けに着手し最近上海より海路ウラジオに輸送された豚肉は二百噸に達すると

印度側の回答未だ無く
日印會商の前途豫想不可能

（デリー十三日發國通）休會中の日印會商は十三日頃再開の運びと豫想されて居たが、印度側より遂に何等の通知來らず十三日は開會しなかつた十四日も未だ通知無き故開否未定だ、餘り落着いた印度の態度は品種別に對する英本國よりの回答未着の爲めと觀られてゐるが、印度も今度はかなり愼重な態度を持し如何なる意向を持つてゐるか充分な情報が得られないので、我が代表部も待機の姿勢を續けてゐるのみで、前途の豫想は全然不明である

操短のみでは效果なく
爲替對策要望

（東京十三日發國通）全國製糸業組合聯合會は十五、六日富士見會館で製糸業特別委員會を開催し、全國製糸操短問題の可否に就き協議する筈であるが現下の情勢は操短のみでは效果なく政府に對し爲替對策を要望するを先決問題とするとの意見有力であり成行は重視されて居る

討伐支那軍區域外引揚げ
殘留部隊にも引上げを督促

（錦州十三日發國通）匪賊討伐の爲め支那軍不侵入區域に侵入した支那軍は我軍の要求に依り昨日來野砲八門、機關銃三十門を不侵入區域外に引上げたが尙撫寧附近には殘留部隊ある爲め我軍より速かに撤退方を要求した

灤東住民移住から
奉天人口激增

（奉天十三日發國通）奉天警察廳最近の調査に依れば、奉天市內に於ける人口は近時著しく增加し、其の大部分は灤東地區より逃れて來た避難民で其の原因は

一、支那政府は同方面住民の安全を保障する能力無き爲め、住民は非常な不安を感じ生活の安全を求め滿洲國編入を希望してゐる事
一、關內に於ける稅金は非常に過重で匪賊の蹂躪を受けずとも到底生活不可能なる事

等であると

今村討伐隊太田部隊
敦化西方で大匪團を擊破

（ハルビン十三日發國通）今村討伐隊、太田部隊は十日午前七時敦化西南四十キロの地點、帽儿山に於て約五百名の匪賊に遭遇、交戰四時間にてこれを擊退した、討伐隊には損害はない

北鐵電信局の不信

（ハルビン十三日發國通）北鐵電信局は北鐵西部沿線行の邦人の電信の受付及び配達を拒否或は故意に遲延せしむる態度に出て來たがこうした態度はソ聯側北鐵職員の日本人に對する惡意に基くものとして非難の中心となつてゐる

ハルビンの日本商人に
低利資金融資か

（ハルビン十三日發國通）ハルビンより日本商人は滿洲事變以來急速度で發展倍加し舊債を整理して店舖を新築又は新規事業に著々堅調な步調を辿つてゐるが日本商人の多くが不動產を所有してゐないため日本商民の發展に障害を招致してゐる、尙東拓、鮮銀の金融業者は從來不動產に對し相當投資して來たがこの種の投資はロシヤ人方面に多く今後は日本商民の飛躍を期するため抵利資金大萬圓を加へて金融組合が共同出資をなし不動產の買收に着手する事になる模樣である、右實現の上は北滿に於ける日本商人の發展に新生面を拓くものと期待されてゐる

ハルビン取引所
滿人は金融取引を開始か

（ハルビン十三日發國通）ハルビン取引所の一般特產物の取引は不採算から出合は目下の處僅少であるが一方取引所の內容は愈よ整然として近く豆粕、豆油、混保證券の定期現物賣買が行はれる事となつた、尙取引所は取引人に對し金融の便宜も圖る事になる模樣であるが滿人取引人がこれに馴れた曉は今回新設されたハルビン取引所は空前の活氣を呈するものとして期待されてゐる

人事往來

▲熙洽氏（財政部總長）十三日午前十一時着吉林から
▲文城中佐（陸軍省）同上
▲多田少將（豫備役）十三日午後四時三十分發內地へ
▲ディルクス氏（獨乙領事）十三日午後七時三十分着大連から、十四日午前六時三十分發吉林へ
▲廣田中佐（步兵第〇〇聯隊）十四日午前七時着奉天から
▲佐々木中佐（奉天無線敎習所）同上
▲松本佳三氏（滿鐵）十四日午前八時四十分發哈市へ
▲堤少佐（新京兵站支部長）同上
▲南三等軍醫正（第〇〇團司令部附）同上
▲山村中佐（獨立守備隊）十四日午前九時奉天へ
▲荒木少佐（獨立守備隊）同上
▲小日山直登氏（前滿鐵理事）十四日午後九時十五分ハルビンから來京ヤマトホテル
▲水谷工學博士十六日午後六時來京當日公主嶺往復、國都ホテル
▲大村卓一氏（關東軍交通監督部長）十四日午後七時三十分奉天から歸京

團体

▲陸軍大學聽講生廿二名代表白金少佐十五日午後三時廿五分着哈市から、十六日午前六時二十分發吉林へ
▲東西合同歌舞伎團五十一名十九日午前八時四十分發哈市へ

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

項目	相場
倫敦銀塊	一八片八分五
同　遠限	一八片四分三
紐育銀塊	[illegible]
孟買銀塊	[illegible]
米英爲替	[illegible]
米日爲替	[illegible]
米支爲替	[illegible]
スチール株	[illegible]
アナゴンダ株	[illegible]

▲上海標金

限月	前日	本日
現物	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]
昨止	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]
本寄	[illegible]	[illegible]
步値	[illegible]	[illegible]

▲上海日本向

回	相場
第一回	[illegible]
第二回	[illegible]
第三回	[illegible]

▲上海倫敦向

項目	相場
賣値	[illegible]
買値	[illegible]

▲上海紐育向

項目	相場
賣値	[illegible]
買値	[illegible]

▲大連金鈔票

項目	相場
現物	[illegible]
十一月二十七日限	[illegible]
寄付	[illegible]
步値	[illegible]
引値	[illegible]
高値	[illegible]
安値	[illegible]
出來高	[illegible]

▲大連上海向　[illegible]

▲大連臺灣向　[illegible]

各地市場

▲阪神日米爲替　第一回　[illegible]

▲大阪株式

銘柄	前日	本日
大株新	[illegible]	[illegible]
大鐘紡新	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]

▲同短期

銘柄	前日	本日
大株新	[illegible]	[illegible]
東鐘新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]

▲大連株式

銘柄	前日	本日
五品當	[illegible]	[illegible]
豆先	[illegible]	[illegible]
新	[illegible]	[illegible]

▲大阪三品　[illegible]

▲大阪棉花　[illegible]

▲大阪期米　[illegible]

▲仁川期米　[illegible]

▲橫濱生糸　[illegible]

▲神戶豆粕　[illegible]

▲カルカッタ麻袋　[illegible]

▲大連特產　●麻袋　[illegible]

新京市況

▲糧豆現物

品目	相場	出來
特產	[illegible]	[illegible]
大豆	[illegible]	[illegible]
高粱	[illegible]	[illegible]
小豆	[illegible]	[illegible]
包米	[illegible]	[illegible]

▲錢鈔

項目	相場
大豆	[illegible]
同先物十一月限	[illegible]
鈔票對金票	[illegible]
現大洋對金票	[illegible]
國幣對金票	[illegible]
現大洋對鈔票	[illegible]

問題の地方委員會 あす愈よ開く

副議長問題で或は大混亂か 豫定は施設の見學

延びくになつてゐた新京區地方委員會はいよく明十五日午後一時から地方事務所長室で例會を開くこととなり各委員へそれぞれ通知狀が發せられた、議長選擧いらい凡そ四十日振り

『實質』的には新委員就任後最初の委員會とも見るべきである、當日は大原議長からさきに大連で開かれた全滿地方委員聯合委員會常任委員會の經過報告があり、また地方事務所側からは土地料金値上に關する經過を報告するはずで時間の都合つき次第引續き各委員が打揃つて各學校、消防隊、屠畜場その他附屬地の地方施設を見學することになつてゐるほか特に目新しい上程議案とてないが例の副議長問題の如き議長選擧いらい未だ『一般』市民に取つては持越しの狀態にあり一部委員會でもかかる重大問題を唯だ委員間の懸引?に止めて過去四十日間も一般市民の前に公にされず有耶無耶に葬る如きは今後の地方行政に及ぼす影響は少くないといふので相當重視してゐる模樣であるから何らかの形式でそれが表面化されるべくその趨勢如何によつては相當混亂が豫想されるものがありその他二、三の問題とともに誠に多大の興味がつながれてゐる

地方委員會は一般にも公開

各委員も大体贊成

新京區地方委員會は從來秘密主義といふわけではないが大した問題もなかつた故か一般に公開されずにゐたが既に時世も移り變つた今日、また今後幾多市民に取つての重要問題も論ぜられることを豫想してこれを一般に公開するべきだとの輿論が高まつてゐるが大原議長を始め各委員間でも問題でなく殊に大原議長の如き

過去はどうあつたにしろ地方委員會の如き原則として公開さるべき性質のものである、ただ特別の事情がある時は秘密會を要求すべきだ

との意嚮のやうであるから結局公開されることになる模樣でこれはある意味において地方委員會そのものの一進歩向上を齎らすものであらうと一般から期待されてゐる

經濟事情案內所の大活躍

滿洲產業開發の指導的特設機關として不斷の努力を傾倒してゐる滿洲經濟事情案內所は最近大アジア主義實現に對する一助にもとソ聯極東方面の資料として「露西亞叢書」八十八編を揃へ更に支那中南部方面に關する資料の蒐集に努めつつあるが「滿洲事情紹介、案內刊行物に關する各種機關の指導統制」及び「滿洲人の旅客誘致策」に就て軍部側と相談、指導委員會設立の急務を提唱、全滿的に各種機關の統制に關する研究調査を開始し、更に日滿商業促進上の見地よりかねて滿洲國の年中行事、繪畫、諸傳說の研究を重ねて居るが、最近異常な變化を示してゐる滿洲國人向商品の模樣、商標、色彩、趣向等に就て特にその研究調査を進めて居る其の他滿洲向き商業用ポスターの蒐集にも力を注ぎ之を滿洲語の對譯解說を付し博覽會の貸出しの用意に備へてゐる、その最近の試みとして新潟縣商業美術展覽會に同所蒐集各種ポスター四十點を貸出好評を博した、因みに開設以來々訪者に對する親切な回答と調査上の便宜供與は今や全日滿の實業家間に知れ且り依賴者の數を激增しつつあり十月中の來訪者は百六十八名、書面による紹介十件、開所以來の累計は來訪者九百六十名、書面紹介百二十七件の多數に上つて居る

改良大豆檢査協議會

十四日午前十一時から實宴樓廣間において滿鐵農務課主催の昭和八年度產改良大豆檢查に關する協議會が開かれた、出席者は農務課二名、新京鐵道事務所三名、貨物助役一名、檢查人七名、四平街以北新京までの特產商代表者十三名、滿鐵側驛長十五名、貨物主任三名である

博愛の手は伸ぶ 赤十字の活躍

明十五日より赤十字デー 三日間全滿に

非常時に對應する日本赤十字社の活動に對し愛國憂世の士は勿論此際どなたも奮つて應援して頂きたいと、戰時事變救護の爲、國民保健の爲、將た又社會福祉の爲に當支部員は語る

日本赤十字社滿洲本部では同社の趣旨宣傳及び社業の普及を圖る爲明十五日より三日間『赤十字デー』として各支部を通じ全滿に呼びかくることになつた、「卷くや繃帶、白妙の心の色は赤十字」と『軍歌』にもあるやうに赤十字社本來の使命は戰時事變救護にあるのでありますが今日の

赤十字社は各國共に國民の健康增進を基調とした各種の社會的事業に手を染めてゐて時節柄益々多角的に伸展しつつあるのであります、申すまでもなく赤十字事業は人道博愛の信念と報國奉公の思想によつて初めて達成されるものである事は明白な事實でありましてそこに國民の協力的援助が必要となつて來るのであります赤十字社はこれまで戰爭や『事變』の際は勿論災害の時の救護にも極力勤めて參りましたし平時と雖も主として國民保健、疾病豫防などに甚く種々の社會事業にも力を注いではゐますが非常時打續く今日赤十字としての仕事は唇一層必要となつて來たのであります、殊に滿洲國承認と國際聯盟脫退を敢行したる我國はいろいろの意味に於て列國嫉視の的となつてゐる事は兒童と雖も充分承知してゐる次第で且に聖旨を奉體して擧國日本の爲協力一致大に奮闘しなければならぬ秋だと存じます、我が日本赤十字社は想を『茲に』致し一つには滿洲國の全面に涉り博愛思想の普及と衛生思想の涵養とに努め理想的王道樂土の建設に貢獻せんが爲事ら使命の達成に精進努力してゐますが斯かる國家的事業は固より國民總意の反映でありますから國民の之に對する關心援助の如何が大にこの事業の消長に關係するのであります、即ち赤十字社は全國民の協力と後援とに依つて初めて思ひ通りの活動が出來るのであります之れ吾人が我社の國家的事業に對し特に好意を以て『援助』せられむことを一般世人に切望して止まざる所以であります

街の日記

銀なべ開業好評

日本橋通り百貨店前カフエー日本が今度銀なべと改造されてすき燒、鍋もの、一寸一ぱいと言ふ簡易の御座敷きになつた、主人公は長春時代の古顏の若林氏でお馴染の仲居連も親切、家族連れでも行ける氣輕さで、業早々より銀なべ仲々評判がよい

有田燒窯元の賣出し

有田燒名工柿衛門はあまりにも有名だが今度佐賀縣有田村有田燒の本家窯元館林玄次本店より、生產者より直接家庭へとして大量一萬余種を揃へ滿洲に宣傳賣出に出張十二日より祝町消防隊裏通り吉野町東洋軒橫入りに假店舗をかまへ廉價な賣り出しを開始したが前記柿衛門燒を初め多數均一品賣出しもあり優秀品が案外廉價なる爲頗る好評である

永樂町に開業 クロネコ美粧院

新開地永樂町一丁目に新装氣持ちよい床屋か出來た新京理髮界の古參クロネコの御主人公で從來東一條通橋上クロネコ美粧院が同一經營の爲階上に分店日本髮は山上クニ子女史門下の青木繁子さん、洋髪はメイ牛山門下岩崎千代さんが擔當して居るが粹な令孃奧樣方で賑つてゐる

寄附

室町小學校創立廿五周年記念ニ際シ特別寄附トシテ
一金十圓也四戶一氏(同校出身)
一金三十圓也坂根福太郎氏
一金五圓也本城トヨ氏(元同校職員)
○富士町二丁目校尾光次氏子息內地歸國ニ際シ父兄會へ金十圓也寄附
○奉天在住山田與三郎氏亡兄康彥君(同校出身)忌明ニ際シ小學校へ一金三十圓也寄附

拾ひもの

▲西二條通巡査派出所勤務巡査渡邊喜三氏は十四日午前七時ごろ派出所前で子供用防寒外套一着(茶色)を拾つた
▲城內大平街客馬車夫王姜希氏は十四日午前十一時ごろ室町小學校附近で計算器一個を拾つた

落しもの

▲日本橋通六十六番地風柳竹次郎氏は十三日午後二時ごろ自宅前から馬車で驛に行き驛構內切符賣場で新京銀行の預金通帖(風柳名義)一册を落した
▲吉林滿洲國第二教導隊川部良一氏は十三日午後十時三十分ごろ新京驛前廣場で毛布包一個在中衣具若干を落した

盜難屆

▲三笠町三丁目一五番地の一飲食店橫網坂本力藏氏所有の自轉車一台(黑塗ブレーキ付き)を十三日午前二時ごろ自宅前に置いてあるを窃取された
▲日本橋通四十三番地實業屋パン商福川奈良次氏所有の自轉車一台(黑塗ギヤエム號)時價五十圓を十三日午後四時廿分ごろ領事館警察署前で窃取された
▲日本橋通八五番地新京ビル二階嚴松堂保海正三郎氏所有の自轉車二台時價六十五圓を十四日午前十一時三十分ごろ百貨店前で窃取された

クモの巣のやうな 露探網暴露

ハルビンのドルコムから 頻りに飛ぶ暗號電報

露滿國境におけるロシアの尨大な軍事設備に因る緊張、或は怪文書事件等ただならぬ日滿露の空氣中にあつてロシア側の滿洲國に對するスパイ網の周密、諜報機關の整備は驚くべきものがあり、ロシア政府のあやつる糸にをどる露國人、支那人、朝鮮人の怪しげな眼は全滿いたるところに光り秘密情報の蒐集、機密文書の盜み出し等『無氣味』にかがやいてゐるかれ等は情報のもれさうなところ、例へばカフエー、食堂の使用人にばけ込んでゐるのは勿論、鐵道從業員、各官衙の事務員、ボーイ、タイピストなどに巧に化込んで露國政府の指令に從ひ日滿兩國の秘密をかぎ出さうとつとめてゐる、勿論滿洲國政府初め關東軍でも特に憲兵隊、警察署等はロシア諜報機關調查の專門員を置いてこれに對抗しブラツク、リストに『人物』の行動に關し監視を拂つてゐるが、全滿に亘るスパイ戰線は北鐵問題の紛糾を契機に異常な緊張を示してゐる、傳へらるるところでは

ロシアは今回モスクワに滿洲國赤化宣傳部本部なるものを組織しハルビンに支部を置きスパイを放つて『積極的』に滿洲國の赤化をはかると共に一方露滿開戰を宣傳して白系露人を買收し突擊隊の組織を策し更にハルビンにスパイ戰線の司令部とも言ふべき「ドルコム」を設置し最近頻りに「ドルコム」から北鐵全從業員に暗號電報をもつて指令を發しつつあり、一方國都新京の情報蒐集に備へて西郊寬城子に「ベストコム」と稱する諜報機關を置き日夜本國政府に日滿側の『機密』を打電しつつあることが判明、更に露滿國境の日滿軍狀の調查には最も注意を注ぎ匪賊を操縱して日滿兩國の機密事項を探りつつあることや及び匪賊を援助して自國に有利ならしめんと暗躍してゐることは疑ふべからざることであり、露滿國境方面の匪賊が執拗に日滿軍に抵抗して『軍費や』彈藥、武器にも事かかぬ理由が判明するであらう、日滿當局は現下の對露情勢に鑑み事態を徒らに刺戟して惡化せしむることを差控へてゐるが、ロシアがこの種不信行爲を續けるにおいては今後憂ふべき事態を惹起する虞が多分にあり極めて重視されてゐる

滿洲國警察隊の活動紹介に

映畫『蘇る新興滿洲國』撮影

民政部保安科では建國以來幾多の困苦と鬪ひつつ警務に當つてゐる國境警察隊、游動警察隊及海邊警察隊の活動狀態を一般に知らしめるため之に主材を採り「蘇る新興滿洲國」と題し映畫を作成することとなり目下シナリオの執筆中であるが本年中には映畫化され全滿のみならず海外へも紹介すると意氣込んでゐる

奉天警備司令部の公金橫領事件

—土屋築道部主任 奉天憲兵隊に引致さる

〔奉天十三日發國通〕奉天附屬地憲兵分隊では去る九日來奉天省警備司令部築道部主任土屋五門を引致し、極秘裡に取調中であるが仄聞するところに依れば土屋は本年三月警備司令部築道部主任として就任以來、數回に亘り工程費員に支拂ふべき金額中より約二千六百圓を橫領着服してゐたものの如く、その他にも一千餘圓の使途不明の金額あり、依つて附屬地憲兵分隊で同氏に就き右金額の行方に對し嚴重取調中であるが、或は行方不明の一千餘圓も土屋の手に依つて費消されたのではないかと疑はれてゐる

中尾氏を拉致した 匪首は東來

配下の匪賊遂に自白

〔ハルビン十三日發國通〕ハルビン郊外の大小匪賊團は日滿軍憲の爲に徹底的に『討伐』され今や匪賊團は地方的には全滅、又は四散して自滅の域にあり、ハルビン市外五十里以內には匪影を認めない狀態にあり住民は安居樂業日本軍に淚ながらに感謝の意を表してゐるが、先に長谷川組の下請負人たる中尾德四郎氏を人質として拉致した東來を匪首とする匪賊の一團はハルビンの西北釣魚臺及び西南臺方面に移動を開始した一部の匪賊團と共に何事かを極秘裡に畫策中であるとの報に接した呼蘭に駐屯する第二旅第二連の滿洲國呼蘭警備隊は直ちに出動し、右匪賊團と激戰を交へ敵に多大の損害を與へて四散せしめたが逮捕した匪一名を嚴重に調べた結果、右匪賊は中尾德四郎氏を人質として拉致した匪首東來なることを遂に自白するに至つた、依つて討伐隊は之に雀躍して引續き嚴重取調中である、尙ハルビンの西北約五十五支里方面で匪首天龍の統率する匪賊が薄荷臺を『襲擊』せんとしつつあるとの報ある爲引續き嚴戒中である

幽蘭女史拉致の 東山好

當局の歸順條件に應ぜず

〔ハルビン十三日發國通〕男裝の老女本莊幽蘭女史を人質として居る東山好を匪首とする匪賊の歸順については先般來滿洲國側と折衝中であるが匪首東山好は武裝の儘歸順して滿洲國のために忠誠を誓ふと稱し武裝解除に應ぜずまた歸順前の同女史釋放にも應じないので幽蘭女史の釋放問題も目下五里霧中の形であり殺人的寒氣日每に募る折柄同女史の健康が氣遣はれて居る

大歌舞伎 愈よ開演

先に奉天劇場で開演した東西合同名題大歌舞伎中山延見子市川海老十郎嵐三五郎を中心とする百數十名の大一座は敷讀のうちに四日間を演了一日のべ十四日夜を名殘りに同地を打上げ直ちに新京に向け出發十五日新京に華々しく乘込み同日夕初日の蓋をあけるが長春座は一行を迎へるため招き看板、積樽等賑々しく飾りたて夜はイルミネーションを點ずるなど景氣をつけてゐる、因に觀劇料は特等四圓、一等三圓、二等二圓であるが市中各所で代賣してゐる前賣割引券を買ふと五十錢づつ引くことになつてゐる、尙座席の豫約は當日午前中に入場券を添へて長春座の事務所へ申込まれたいと初日藝題は一番目と二番目を据へ替へ左の通りである

一、近江源氏先陣館　二場
二、寶入船七福神　三場
三、心中女舞衣　四場
四、所作事紅葉狩　一幕

開場は午後三時開幕は三時半といふことになつてゐる(カツトは中山延見子の更科姫)

長春事變の思出會

昭和六年九月十九日未明滿洲事變勃發の際長春に在住した人々は年々減つて行きつつあり如何に當時の長春が累卵の危きに在つたか、如何に官民が協力一致して非常時に處したかの實情を知るもの無くなるを遺憾とし何とかしてこの歷史を永遠に傳へやうと十三日夜六時から料亭曙に有志が會合、長春事變思出會と云ふを催したが、當時の長春守備隊長芳賀大尉、長春警察署長武波警視、荻原獨立守備隊副官、商業學校教官阪田少佐、塚本長春醫院長、高澤驛長、須藤憲兵伍長、滿鐵荻原經理主任、同涉外係篠谷主任、箱田新京日報、高橋大連新聞、南里滿洲日報、木谷奉滿、十河新京日々の諸氏出席懷舊談に花を咲かしたが、當時の秘話秘聞も色々交換されたが何れこれをまとめて永遠に想出を殘すことを決議懇談して散會した

黑龍江結氷

〔大黑河十三日發國通〕數日前より流氷を續けて居た黑龍江は十二日午後十一時遂に結氷した

匪首老耗子 戰死か

〔天津十三日發國通〕撫寧城に立籠り反抗を續けてゐた老耗子匪は既報の如く保安隊の警戒線を脫出して熱河方面に向つたとの事であつたが最近遂南に在る山崎部隊が乾溝鎭西北方三支里要隘兩方面視察中同地自警團と交戰々死を遂げた匪賊中に老耗子の屍體あるを發見したと

札蘭屯と滿洲里に 電話開設

〔ハルビン十三日發國通〕北滿西部沿線の札蘭屯と滿ソ西部國境の滿洲里は滿洲國建國以來日進月步目覺しき發展振りを示してゐるが地方の發展に伴つて文明の利器たる電話の開通が市民の間に喧ましく論議されて來たので電信電話會社の優秀な技師は滿洲里に十六臺、札蘭屯に四十臺の電話を新設するため西行したが同地方は益々目覺しき發展振りを示すであらう

陶賴昭の乘降復活か

農安のペスト下火で

〔ハルビン十三日發國通〕農安方面に惡疫ペスト猖獗せるため北鐵當局にては去る九月二十日以來北鐵南部沿線(ハルビン—新京)陶賴昭、寬城子間の中間驛に於ける貨客の乘降を中止してゐたが同方面のペスト病も終熄の形であるので北鐵當局は地方民の不便を考慮し殊に特產物出廻り殷盛期を控へ商民の利害を考慮して來る十五日より從前通り連絡貨物取扱ひ並に沿線一帶の貨客の全幅輸送を開始する模樣である

けふの銀相場

鈔票對金票	一三三五
現大洋對金票	一〇六四〇
國幣對金票	一〇六四五〇
現大洋對鈔票	九六四五

慶安異聞 艶魔地獄

(講談上演映畫化)　玉水三郎　(畫)長谷川小信

(九十一)

蔵之の遭殺(一)

小石川白山御殿下の、久米の平内は其後何だか、氣に懸るのは青山主膳の一件で、大久保老人が呑み込んでゐるから、萬一の際は安心と思ふやうなものゝ、若しも可憐な十松といふ遺子の身に凶事があつてはならぬ、と日頃豪放磊落な平内も、胸の中に此一事は忘れない。

ある日駿河臺の小路の、大久保彦左衛門を訪ふと、老人大に喜んで、

「ヤア平内か、能く參つた。今日は閑暇で困つてる所だ。悠々遊んで參れよ」

「ハツ、御在宅で重疊、實は先般御無禮申上げました赤坂組内破落戸の者に就て、少々伺ひたい事がございまして……」

「オゝ、あの一件か。何か貴公耳に入つた事でもあるか」

「イエ〜手前よりは、老公のお耳に入つた事はないかと、それを伺ひに參りました」

「アッハヽヽ、それは逆であつた。儂の方では何事も聞かぬ」

「言葉を返すやうで失禮でございますが御老人。先日手前があの一條、詳しく申上げましたる時、コリヤ吟味せずには置けずと仰せられまして、手前方をお飛出しになつたではございませぬか。あの儀は如何相成りました」

「オゝ、それか。吟味は即日に致した。又聞く聞き込む所もあつた。其大將は青山主膳が、酒井因幡守を馳走までして、突附いて破落戸人、遊族、召捕りとなつたのだが、因幡守は知らぬ其手に乘らん。馳走だけ受けて、却て青山の腹を見拔き、破落戸の方に加擔して了つたのだ。ソコで青山の奴め大失敗となつたので、今度は自分が以前町奉行いあつた當時の組下、大瀧道十郎を拖込み、目明し冊人をして、唐犬權兵衛方を探らせたところ、郎れ座敷に無名の浪人がゐるといふを聞き出し、之ぞ小島三平に相違なしと踏み込み、三十人が裏表から包圍して、其浪人を召捕らんとした處が、それが又的違ひで、深見重左衛門といふ、松平出羽守が客分としての浪人者で、主人があつてないといふ、變な人物であつた」

「アツハヽヽ、ハ一寸手前も承はりましたが、面白かつたさうで……」

「唐犬は又何うして、そんな素性を食客に置いたかな」

「大きに左樣」

「之のみは此大久保にも解らん。何としても合點が行かぬ」

「アツハヽヽ」

「何を笑ふ平内」

「あれは久米の平内、一策を設けましたので……アツハヽヽ」

「ナニ貴公、深見重左衛門と昵懇であるかな」

「ハツ、諸國修行中に出會ひ、倶に深山幽谷を跋渉いたしましたが、此度不圖訪ねて參りましたので、四方山の話の末、小島三平父子の事を話りました所、重左衛門は義俠心厚きもの、青山を懲して、三平を助けんと申して呉れました。ソコで無名の浪人として、唐犬方に預け、自然に青山其他の者が不審を打つやうに取計らひましたが、案の定青山が此手に懸りましたので、儂の棒を振廻して、同心目明しを追つ拂ひましたるよし、流石俠の至りに存じます」

「イヤ左樣であつたか、貴公も中々味をやるな」

「お褒めに預かりましては、恐れ入ります」

處へ大久保の用人、笹尾喜内が悦たらしく入つて來た。

水曜　乙酉　赤口　開　軫宿　舊九月廿八日　十一月十五日

●一白の人　一戰一戰敵地を侵略する如く勝利を得べし　乙さ丙さ寅が吉

●二黒の人　人に瞞着せらるゝ事あり金錢取引特に注意　丁さ庚さ寅が吉

●三碧の人　安全を期せんには心靜かに本業に從ふべし　乙さ辰さ未が吉

●四綠の人　一旦の利あらば退きて出直るによろしき日　乙さ丙さ未が吉

●五黄の人　他力を頼みとせず自己の力にて進むがよし　丁さ庚さ寅が吉

●六白の人　衰運の日百事差控ゆべし營議後轉開店大凶　甲さ庚さ辛が吉

●七赤の人　上下の親み薄く反目を來すべき日證文注意　丁さ辛さ寅が吉

●八白の人　榮達を阻して空想に終る日病厄盗難等注意　乙さ丁さ丑が吉

●九紫の人　平運なれども方針を誤り失敗ある危險の日　庚さ壬さ癸が吉

新京日日新聞
發行所　新京日日新聞社
編輯人　發行人　印刷人

傳ふる關東廳案はデマも甚しい
問題の人、日下内務局長が極力流說を否定す

在滿機關統制に關する關東廳案を携行して來京したと傳へられ俄然注目の的となつた日下關東廳内務局長は十四日大和ホテルで左の如く語る

在滿統制機關關東廳案として駐滿全權府設定云々が盛んに報道されてゐるがデマも甚しい、菱刈長官から統制機關案に就いて考へて見よと言はれたので關東廳の首腦部が目下

『考慮』してゐるのは事實だ、併し未だ成案は得てゐないこの問題は今日始まつた譯ではなく課長級は誰でも一私案を持つてゐる、從つてその邊からデマが飛んだのだらう、關東廳の權限擴大にしても誰でも自分の子は可愛いものだから出來る範圍内で擴大したいと思ふ、だが滿洲國の獨立性を卒先强調すべき治外法權撤廢が叫ばれてゐる今日傳へられてゐる樣な國線の沿線に附屬地に類似した特殊地帶を設定して關東廳の

『權限』を擴大しやうなんて時代に逆行するも甚だしいデマだと言ふことが明かだ、關東廳は三位一體の一翼として愼重に案の研究を續けて居り未だ發表すべき時機に到達して居らぬが新聞に傳へられるやうなものでは絕對にないと言ふことは言ひ得る

と一切を否定した尙同局長は二、三日滯京の豫定である

軍縮幹部會再開

〔ジユネーヴ十一日發國通〕軍縮幹部會は十一日午前再開され軍縮條約案の各種條項を審議する六名の委員會と實戰闘員統制問題の審査を續行す

べき分科委員會を任命した日本代表は報告委員の中に擧げられてゐるが報告委員は常設委員會の問題をも處理することになり、斯くて軍縮事業は形式的乍ら依然繼續されることとなつた

細迫兼光氏轉向を聲明

〔東京十三日發國通〕共產黨のシンパ狩りで昨年夏檢擧された舊勞農黨書記長辯護士細迫兼光氏に係る治安維持法違反事件の公判は十三日午後一時半から東京地方裁判所で開廷されたが同氏は公判を前に今日迄の一切の運動を淸算し郷里山口縣に歸り附近の人々の相談相手となつて辯護士の業務に勵み善良なる日本國民として生活したいと思ふとの轉向の上申書を提出した

平和なスイスファッショを嫌ふ
矢田公使の土產談

〔ハルビン十四日發國通〕歸任の途に在る矢田スイス公使はシベリヤ經由來哈、十四日午前九時四十分發で新京に向つたが氏は語る

平和なスイスの土產話はこれと云ふものがない、世界でも有名な時計機械工業には依然として重點を置いてゐる、スイスではファッショを非常に嫌忌しファッショの制服を着た者は十年以上の刑又は罰金刑に處することになつてゐる、そしてヒツトラーの勢力の進入を心配してゐる、ドイツの聯盟脫退は列國に異常なショツクを與へてゐる樣だ、シベリヤでは貨車に多數のトラツク、トラクターを滿載してゐるのを見た、ソ聯は重工業に力を注いでゐる樣に思はれた、國境方面には相當の增兵が竄されてゐる樣だ

尙同氏は滿洲國の參謁に擬せられてゐる

滿洲大豆制限當分適用せぬ
ドイツ政府の聲明

〔ハルビン十三日發國通〕獨逸政府は昨年下半期まで滿洲より獨逸に輸入された滿洲產出大豆の八割まで制限する旨を聲明したが更に右制限法は一九三四年一月迄適用せざる旨を聲明するに至つた、而してドイツ政府が今回の擧に出でた最大理由はドイツ商品を滿洲國にドンドン輸出せんとする商策にあるものと解せられてゐる

特產出廻狀況

一時さかんに旺盛を極めた特產出廻りがこゝ數日やゝ下火となつたい混合保管輸送新京管内十一月七日四十八車であつたのが九日百六車十日七十五車、十一日は百十二車となつた、これが原因は大連相場が四圓三十錢してゐたのが三圓九十七錢に下落したのと暖かくて降雨があつたゝめ遠方からの特產が渡河出來ず出廻りが減少したものと見てゐる寒氣におもむけば自然と多くなり大連相場が强氣になれば出るのであるが今弱氣なのでにぶるのである、北滿線持込數は十一日百八十車、十二日百八十車、十三日百十一車十四日は百五十六車の豫定であるがこれ等の内の七十パーセントから八十パーセントは哈爾賓物である

ハミルトン氏來京

米國々務省東亞副部長兼領事監察官ワシントン州議員マツクスウエル・ハミルトン氏は十二日奉天より來京したが來滿の目的は滿支に於ける自國

國民の視聽轉換に開戰說を流布
宮崎黑河機關長語る

〔チチハル十四日發國通〕黑河特務機關長宮崎大尉は事務打合せの爲新京に赴く途中飛行機で十三日午後四時來齊し同大尉は語る

黑龍江も十二日夜半遂に結氷して、在留邦人も既に二百廿名に達し娘子軍も二十名許り居る、ソ聯問題に就ては詳しく云ふ事を避けたいが、ソ聯側は想像以上に軍備を充實して今にも戰爭が始まると許り官憲は種々宣傳に努めて居る、これは内政上人民の注意を對日滿開戰に轉換せしめる必要があるからで、又乾券子の滿人二百名慘殺は事實だが同地はソ聯領で滿洲國領では無い

米ソ復交は十七日頃聲明
國内に反對の聲起る

〔ワシントン十三日發國通〕國交恢復に關する米ソ交渉は來る十七日ルーズヴエルト大統領がジヨルヂヤに週末旅行に出掛ける迄には大体成立を見、國交恢復聲明の運びに至る見込がついたものゝ如く、ホワイトハウスでも裏書するが如き意見を述べて居り、米ソ國交恢復は愈よ近きに在ることが確められた、一方ニユーヨーク選出の共和黨下院議員ピツシユ氏を始めとし米ソ國交恢復反對の氣勢が揚げられてゐる

黑河のソ聯側棧橋
滿洲國側實力で撤去す

〔ハルビン十三日發國通〕黑河駐在のソ聯領事館は對岸ブラゴエシチエンスクとの交通の便を圖ると稱して河岸に棧橋を架設しブラゴエとの交通をなして來たが滿洲稅關は取締上不便を感ずるので從來屢々これが撤去方につきソ聯側と當該機關を通じ交涉中であつたがソ聯側は容易に我滿洲國側の合理的要求を容認しないので我方に於ては已むを得ず遂に實力を以てソ聯側が架設した河岸の棧橋を撤去した

商標法實施に伴ふ諸懸案を解決
いよく成案を得
日滿兩當局の最後的協議

滿洲國商標法は愈よ來る二十日より實施さるゝこととなつて居るが法の實施區域に關し地理的、經濟的に不可分の關係にある關東州を如何に取扱ふかに就ては種々の懸案あり尙商標法の侵害による日滿間の紛糾に對し將來如何なる態度をとるや等幾多の問題が伏在して居るので、十三日大使館に於て關東廳日下內務局長、山中商工課長、御厨外事課長代理、大使館より米澤、桝谷兩書記官、花輪司法領事、關東軍特務部菱沼囑託等集まり種々協議成案を得て、目下滿洲國當局と具體的に折衝中であるが、實施までには最後的決定を見る模樣である

滿洲基督敎青年聯合會組織
役員會を開き決定

全滿各地のキリスト敎徒は滿洲國の設立とゝもに滿洲國を中心に滿洲キリスト敎青年聯合會を組織すべく吉林、大連錦縣、奉天、安東の各代表が協議を重ねてゐたがこの程意見一致し去る十一日役員十五名は奉天キリスト敎會館に集合し協議の結果滿洲キリスト敎青年會聯合會が成立した、各地から出席した代表者は左の如くである

奉天	劉宋明	霍天民	
大京	趙壽軒	劉先生	
ラスムツレ（奉天）マタ			
ホータ（吉林）			
錦縣	孔牧師	史夢得	
安東	陳牧師	李百川	
吉林	壽太夫	張先生	

呼海線の東支連絡

松花江流氷のためハルビン馬船口間の交通不可能なので、呼海鐵道は氷上交通可能となるまで例年通り蔡嶺子にて東支線連絡をなす事となつた

滿洲國年報完成

豫て政府に於て編纂中であつた第一次滿洲國年報は國内の全行政機關及統計處の協同の努力に依り此程漸く其の完成を見るに至つたので十二日の國務院會議に於て國務總理より各部總長に之を報告展示せられた、同年報は建國の由來より說き起し大同元年末に於ける滿洲國の行政、財政、外交、軍事、敎育及宗敎、社會事業、司法、警察其の他國家全般の實況を卒直に且出來得る限り數字的に記述せるもので四六倍版千百頁に近き大册である、從來巷間に於ても滿洲國に關する文獻は汗牛充棟であるが政府は事實の誤り傳へらるることを愼れ目下得らるべき最正確な資料を集め之に綜合的なる取捨撰擇を加へ第一次滿洲國年報として稍々自信あるものを作つたわけである、本書は非賣品で政府各機關へ交付せらるることになつて居るが別に日文のものも目下印刷中で本月中には出來上る豫定なつてゐる、且又政府は廣く滿洲國の實態を正しく認識せしむるため滿洲文化協會をして日文書及版を出版せしめ一般に賣出さしむる事になつて居る

儀我中佐出發

〔チチハル十四日發國通〕山海關に轉任を命ぜられた儀我特務機關長は後任松室大佐と

吉林兒童團發會式

〔吉林十四日發國通〕予て計畫中であつた吉林兒童團は今回文敎部からの補助金額決定し二十日頃發團式を擧行する事となつた

細目協定を終へて又新京に來る
ドリヴイエ氏語る

〔大連十四日發國通〕佛國の海外經濟發展協會代表ドリヴイエ氏は目下横山氏と共にヤマトホテルに滯在中であるが同氏をホテルに訪へば左の如く語る

日佛對滿事業組合設立に關しては目下滿鐵側と細目協定に就き折衝中であるが不日同協定成立を俟つて再び新京に赴き關係各方面の諒解を得た上事業組合の成立を觀る筈である

各建設處の國道進捗狀況
何れも引續き完成

滿洲國々道局の國道建設工事は着々進捗大同二年度の豫算四千粁は既稱のごとく大体に完成を見たがなほ十月三十一日現在における各建設處の工事進捗を見ると左の如くである

△新京建設處

路線名		延長粁	工程
新京	扶餘	一六四、〇	竣工
懷德	公主嶺	三三、〇	
公主嶺	伊通	三三、八	
伊通	新京	六九、〇	
吉林	新京	一二一、三	
濱江	賓縣	九〇、〇	
海林	穆稜站	一七五、〇	
穆稜站	穆稜縣	一二、〇	
穆稜	綏芬河	八〇、〇	
佳木斯 三姓	勃利	一三〇、〇	
琿春	土門子	一四、一	

△奉天建設處

路線名		延長粁	工程
南雜木	新賓	八八、〇	竣工
新賓	通化	一〇一、〇	
北山城鎭	柳河	三七、〇	竣工
柳河	通化	九八、〇	竣工
遼陽	遼中	五九、〇	
遼陽	立山	二二、一	
鞍山	七嶺子	一四、七	同
鞍山	湯崗子	一一、七	同
安東	大孤山	八〇、五	竣工
莊河	城子疃	五五、七	同
大孤山	莊河	七七、〇	
北票	朝陽 舊道	三九、四	同
朝陽	凌源	一三〇、〇	
凌源	平泉 新道	四三、〇	同

駐滿海軍部の伊藤大佐榮轉
木曾艦長に近く赴任

駐滿海軍部附兼滿洲國軍政部顧問として滿洲國海軍の指導に當つてゐた海軍大佐伊藤整一氏は今回巡洋艦木曾艦長に榮轉することゝなつた、大佐は目下事務引繼ぎの爲めハルビンに赴いてゐるが十四日歸京し後任者との事務引繼ぎを終へ兩三日中に赴任する事となつた

喜多大佐歸任

事務引繼ぎを完了し、本日午前七時半飛行機で當地を出發したが、畑○軍長以下要人多數に見送られ盛大を極めた

岡村副長と共に北支に出張中であつた喜多大佐は十四日午前十一時飛行機で新京に歸還した

多田少將內地へ出發

軍政部最高顧問多田少將は十三日午後四時三十分新京發內地へ向つた

訂正　昨夕刊人事往來記事中多田少將豫備役とありしも豫備役は誤りにつき訂正

神兵隊事件の山口中佐
近く起訴せん

〔東京十四日發國通〕神兵隊事件の山口中佐は近日中に殺人並に放火及び爆發物取締法違反で起訴される事に決定した

ペスト流行地へ食糧を供給

〔奉天十三日發國通〕興安省南分省は曩に防疫班を派遣し通化、通遼、錢家店の北部達爾漢王府一帶を調査せしめたが、該地方はペスト發生以來各地との交通遮斷せられたる爲日用品極度に缺乏し、住民は非常に困窮してゐるので之が救濟策として省當局では三千圓の豫算を計上して食糧品を購入し、警察局をして二班を編成先般配給の爲出動せしめた、之に依り該方面の住民は漸く窮地より救はるべく各方面より好評を受けてゐる

遼河水運開發に工程局を回收せん
滿洲國港灣の威容を整備

滿洲國政府では全滿唯一の貿易港たる營口の河港經營の根本方針を確立、營口貿易の振興を圖ると共に豐穰南滿の大動脈をなす遼河水運開發に力を注ぎ流域產業開拓に資すべく、營口港及遼河水運改築經營に當る

『中立』機關遼河工程局の滿洲國接收を斷行し、全滿港灣の自國經營の宿願を遂し名實共に獨立國港灣の威容を整備することゝなつた從來營口港灣及び遼河水運經營は一九一四年の協約により日、英、米、獨佛並にクールウエーの在營口領事團及び營口稅關長、同稅關監督局、商務總會によつて組織された遼河工程局の手によつて行はれ來つたが今や滿洲國の基礎も確立し、營口港經營も當然滿洲國政府に復歸せしむべしとの論有力に

『擡頭』し來り、地方民の在留外國商人の熱烈なる要望は在營各國領事團及び各機關を動かし永き歷史を有する工程局を自發的に解散し河港經營の一切をあけて滿洲國に返還すべく目下滿洲國政府との間に折衝が行はれ近く圓滿解決の運びに至るものと觀測されて居るが、在營領事團の工程局解散及び滿洲國引渡しは各國在支公使の承認を必要とするので各方面よりその成行は注視せられて居る尙現在工程局總辨には營口稅關監督局長馬仲援氏

『會辨』には松原營口關稅長が就任し全額卅萬圓の關稅附加稅を以つて河口經營費に充當し來つたが、滿洲國接收の上は更に全額三十萬圓の國庫補助を行ひ積極的なる河港施設を行ひ全滿各港を睥睨する大營口港の出現を期することゝなつて居る

△承德建設處

路線名		延長粁	工程
平泉	承德 新道	八三、〇	
承德	古北口	九〇、〇	
奉天	撫順	四三、〇	
前所	綏中	三三、〇	
本溪湖	城廠	一五、〇	
鐵嶺	法庫	三〇、〇	
法庫	康平	一八二、〇	
安東	寬甸	一〇〇、〇	
濛頭	大安平	三三、〇	
朝陽	赤峰	一八七、〇	
寬甸	長甸 河口	五〇、〇	
寬甸	通化	四四、〇	
鳳凰城	大孤山	九三、〇	
通化	輯安	八四、〇	

△齊齊哈爾建設處

路線名		延長粁	工程
通化	臨江	一三〇、〇	
敦化	事安	一三六、〇	竣工
事安	海林	六〇、〇	
訥河	嫩江	八六、四	
嫩江	大黑河	三八〇、〇	同
洮南	王爺廟	一一〇、〇	
王爺廟	索倫	一一〇、〇	
索倫	將軍廟（チャンシユン廟）	一三〇、〇	
鎭東	磯子山	三三六、〇	
克山	拜泉	六三、〇	

商標出願代理人
十八名決定

滿洲國商標局は愈よ廿日より商標事務を開始する事となり十四日實業部總長より左記十八名の商標出願代理人を指定した

商標出願代理人

大原萬千百	飯島滿次
有川勝吉	齋藤鶴太郞
津澤吉彥	田村詢一
石橋茂	李覺民
太刀川英雄	大內成美
淺村成久	關根道一郞
古宇田田晶	黑田直篤
岡部正雄	海德禮
木原濺之助	口羽良男

四平街郵便貯金
十月中の業績

十月中に於ける四平街郵便局貯金業績を調べ見るに、郵便貯金受入高は口數千二百九口金額三萬五千三百三圓三十一錢之れを前月の千九十五口、二萬三千七百十二圓九十九錢に比較して口數百十四口、金額千五百九十圓三十二錢の激增であつて拂出高は五百九十二口二萬九千四百二圓八十五錢で前月に比べて口數十九口增加、金額六百九圓四錢の減少を來たしてゐる、尙振替貯金は左の通りであつた

	本月	前月
受入 口數	一六七三	一六六五
受入 金額	三三、〇〇二、一〇	三六、九六八、一三
拂出 口數	一三一七	一三一三
拂出 金額	三五、〇八〇、三四	三六、三六二、〇六
差引殘 口數	一三五六	一五三三
差引殘 金額	一六、九三一、六〇	二〇、六三六、一五

人事往來

▲米田秀甫氏（滿洲日報新京支社記者）今回本社轉勤を命ぜられ十五日新京發列車で赴任する筈

天氣と氣温

けふの天氣北西の風一時曇り十四日の氣温最高二度一最低零下六度五

お待ちかねのスケートが

いよいよ始まりました ―（きのふ西公園にて）―

世の同情に感激し
蘇へる人生
本紙の記事で救はれた青木氏
敢然、再生を誓ふ

哀れな境遇に身の自由さへ失ひ生死の境を彷徨してゐた青木勝已氏が本紙の記事によつて翕然と集つた世の同情に蘇り、一度失つた命と思つて今後再生を期し日滿兩國のため一身を犠牲に供しやうと誠に近頃以て美しい話。當の青木氏はさきに

＝領事＝館署始め一般の同情によつてその郷里福岡縣柏尾郡仲栗村原町に歸省中だが今は一般の同情に感謝と感激措く能はず歸省後病癒えるを待つて早々本社に寄せたものである（原文のまま）

謹んで申上げます就ては此度は貴殿を始め貴社社員方々の深甚なる御厚情と御慈愛深き方々の御蔭樣にて既に死を覺悟してゐた愚命を御救命下され、のみならず懐かしき郷里に歸郷までさして載きまして

＝茲に＝御厚恩尚より深く山よりも高く死すとも忘却致しません、茲に謹んで御厚禮申上げます、皆々樣の御厚恩に酬ゆるため一意專心療養に努め全快の曉は再び渡滿し既に一命なかりし此の余命をそして近衛出身の軍籍にある身を幸ひ日滿兩國のため犠牲にしたい堅い決意であります。御同情下さいました方々には一々御禮狀を差上げますが貴紙を通じ御挨拶申上げて下さいますればこれに越したる嬉しい事は御座いません尚

＝勝手＝がましく御座いますが私のため御報道下さいましたあの記事は最初の分より御送附願へんでせうか幾重にも御依頼申上る次第であります

歸省後全く心神疲勞の爲め□態に陥りましたが老母の手厚き看護に依りやつと本朝より本性に立戻り不自由な手を以て認めましたもので、讀みにくかれど何卒御推察の上御判讀を願ひます先は亂筆をも不顧御厚情申上げる次第であります

十一月六日　青木勝已　謹言恐惶

新京日々新聞社　社長殿　外社員御中

神道を基に
アジア民族大會
山口縣の神道天行居が

（山口十四日發國通）山口縣熊毛郡布施町に本部を有する神道天行居はアジア民族の向上發展を期する爲神道を基とした民族代表大會を同地日本神社に於て開催すべく計畫し滿洲、白露、アフガニスタン、印度、フイリツピンの各團体に對し招請狀を發した

錢莊續々閉店

（奉天十三日發國通）舊東北軍閥政權の無秩序な貨幣制度下に在つては錢莊は滿洲經濟界に一つの大きな役割を演じ時には貨幣價値を自由に動かしてゐたが、滿洲國成立に依る貨幣制度の統一に依り漸次その影を淡くし滿洲國成立當時奉天市内のみで三百餘あつたものが幣制統一後自然消滅の一途を辿り現在僅かに二百五十五軒となり、それ等も今は僅かに店舗を保つてゐる哀れな現狀で、かつて滿洲經濟界に君臨してゐた錢莊も近くその跡を□ち滿洲情緒たる錢莊の赤い招牌も遠からずその姿を消すものと觀られてゐる

簡易な宿
新しく城内に
簡易宿泊所公益旅社が
東四馬路に店開き

さきに新京市政公署では社會施設の一端として城内東四馬路に簡易宿泊所公益旅社を設けて家屋難のため困窮してゐる市民を救ふべく便宜を計つてゐたが向寒の

＝折柄＝これが利用者も漸次多くなるに鑑み今回防寒、衛生上を考慮して内外の修理改造をなし、これを經驗者に委任經營させることとした、場所は以前と同じ四馬路と大馬路との交叉點から三軒目で最も繁華な交通の便宜しく目拔きな場所で附近には市場があつて申分なくその上に滿洲國電話の設備あり極めて便利な地點にある、建物の前面は凸壁で誠に明るい感じを與へ宿泊料は一泊三十錢、夜具の使用者には實費の五錢で上下の蒲團を貸與し、内容外觀ともに

＝新京＝一の簡易な宿泊所となつた、嚴寒の異郷の空で泊るに宿なく困る者でも三十五錢あれば一晩泊れる譯で至つて簡易な宿である

▲特別市直營時代の成績　昨年九月から本年八月までの一ヶ年の一日平均宿泊人員三名、六、七、八三ヶ月平均六名、委任經營（本年九月二十六日）後の成績は九月三十一名、十月二百四十五名、十一月十三日までに七十八名で收容規定數の倍加せる公益旅社今後の發展振りは見物である

日本人向の部屋も増設

從來の新京特別市簡易宿泊所では一般にこれが存在を認められず一般市民の使用者が少なくその成績は次の如き數が擧げられてゐるも今度の公益旅社は改善の結果、日本人向きの部屋も増設したので冬期入るにつれて日滿人の利用多いものとして期待されてゐる

居住消息

▲辻松太郎氏（香川縣人敎員）撫順から露月町一丁目五號へ

▲岩崎元次氏（長野縣人滿鐵社員）遼陽から花園町四丁目六十號ノ二へ

▲栗山秀止氏（廣島縣人）入船町二丁目七番地へ

▲菊地信三氏（新潟縣人滿鐵社員）新京驛聯絡所合宿所へ

轉居

▲福中惣一氏吉野町一丁目十六番地から花園町三丁目四十號ノ三へ

▲福井彌一氏浪速町二丁目三番地から花園町二丁目三番地へ

▲足立瀧氏常盤町三丁目十二番地ノ十九から花園町三丁目二十九ノ二へ

▲少野寺義助氏和泉町二丁目十七號から花園町二丁目八番地へ

▲石川精次郎氏入船町二丁目五番地から花園町二丁目十九號へ

▲岡元保市氏和泉町二丁目三十六番地ノ二號から花園町二丁、二十一番地ノ三へ

▲中村壽藏氏露月町二丁目二十號ノ二から花園町三丁目三十一號ノ二へ

▲照井善右衛門氏露月町二丁目四十號ノ二十六から花園町三丁目三、十三號ノ四へ

▲中野隼太氏和泉町一丁目十四ノ二から花園町二丁目四十三ノ三へ

▲大久保眞氏露月町二丁目二十三號ノ二から花園町三丁目一番ノ四十四ノ三へ

▲本橋十代松氏常盤町三丁目十一號ノ十一から花園町三丁目五番地四十五號ノ三へ

▲鈴木晃一氏露月町二丁目三十九號ノ四から圖們建設事務所へ

▲須原淳氏西四馬路から梅ケ枝町三丁目七番地ノ三へ

▲松本賢一氏吉野町一丁目一番地ノ三から花園町三丁目二十八號ノ三へ

▲金子清人氏錦町二丁目六號四から花園町三丁目三十八號ノ二へ

あつぱれ新京署が
又も大手柄
今度は懷德縣荒しの大賊を
中谷刑事隊が逮捕

新京署中谷刑事隊は大房身部落に強悪な強盗團の一味が潜入してゐるを探知し一隊は十四日午前十時三十分時の鬨の□を突止め長春縣生れ東來こと張鳳鳴（三〇）同上李和（一七）同上王珍（三〇）の三名を逮捕するとともに長銃一挺實彈十數發を押收し悠々引揚げた、張鳳鳴は匪賊頭目九勝の副頭目として部下五十二名を從へ懷德縣附近一帶を從横無盡に荒し廻つてゐたものである

強盗逮捕の
警官に感謝電
大場關東廳警務局長から
新京署長宛てに

新京署司法係では既報の如くさきに新京附屬地並に城内その他接壤地荒しの一味十九名よりなる拳銃強盗團殘黨頭目姜子禮（二七）外三名の強盗を逮捕するとともに倉田司法主任

＝指揮＝の下に各刑事隊は不眠不休の大活動を續け管内並に接壤地から潛入する匪賊團を連續的に逮捕し王道樂土の大滿洲國首都新京の被害を未然に防止し赫々たる殊勳を立てたため關東廳大場警務局長は左の如き感謝狀を十四日新京署高山署長宛電報があつた

感謝狀

貴署長に姜子禮一味の檢擧に引續き更に前後二回に亘り管内並に接壤地へ潜入せる匪賊五名を格闘檢擧し、良く被害を未然に防止し得たるの報に接し欣快に堪へず其の勞を多とす　大場警務局長

在郷軍人の
住所異動狀況
不履行者が一八パーセント
成績は大變惡い

新京憲察者では管下在郷の在郷軍人が頻繁に住所を異動するにも拘らず届出が適確でないところから或る種の調査を試みたところ左の如き結果を得たと

區分	履行成績
將校、同相當官（幹部候補生を含む）	八〇％
准士官	九八％
下士官	七六％
兵（既教育）	七四％
未教育補充兵	八一％

履行成績は平均八二％であるから百名について十八名の不履行者があるわけで、兵事係の談によると目下將校、同相當官約三十名下士官約五十名、兵（既教育）約二百四十名、未教育補充兵約百八十名合計五百名に對してはそれぞれ届出方を慫慂し或は關係官公衙に手續方を依頼しありなほ他に約二百名位は所謂所在搜査といふ名目の下に手配してゐるが、新京に於て下士官、兵（既教育）の履行成績不良なるは、就職の目的を以て來住し、他に職を得て住所を異動したるものが未だ所定の届出をなさざるに因るものである

滿洲經濟地圖出る

滿洲の產業現勢一般とその分布を一枚の地圖上に一目瞭然たらしめた滿洲經濟地圖が近く出來ることとなつた、同圖は經濟事情案内所が七月以來軍部各科と協力して編纂したもので、滿洲經濟事情のカラーに依る正確な紹介の第一歩として、その宣傳効果を期待されてゐる

『參議就任の話は聞かない』
矢田公使着京語る

滿洲國參議に擬せられて居る矢田スイス公使は十四日午後三時廿分小磯、岡村正副參謀長谷參事官、吉澤一等書記官等多數の出迎へを受けてハルピンより着京直ちにヤマトホテルに於て記者團と會見し左の如く語る

別に感想とてない、以前奉天に暫く居つたことがあるので現在と比較して實際感慨無量だ、國境方面か？大して緊張して居る樣には見えなかつたよ、滿洲國の參議か、未だ正式に自分に話もないから何とも言へぬ、今度は賜暇歸朝だからそんな固い話もあるまい、新京には二泊の豫定だが大使館の方に泊つて行く

故横川看護長告別式
盛儀に終る

故陸軍三等看護長横川勇作氏の告別式は既報の通り十四日午後三時から新京高等女學校講堂で執行された、祭壇は菱刈司令官、林、八田滿鐵正副總裁、新京衛戍病院長、長野縣人會其の他有志多數から贈られた花輪二十數流の錦旗で飾られ生前の氏の功績を偲ばするに余りあつた、伊藤軍醫部長始め百余の戰友四十名の高女代表、新京聯合婦人會其の他市内有志の會葬あり、衛戍病院長、長野縣人會長、新京聯合婦人會長の弔詞捧讀弔電朗讀あり三時三十分盛大裡に終了した

正隆の怪盗は
内地人らしい
刑事各方面に飛ぶ

犯人は内地人と睨んでゐる

既報、十三日午後三時三十分ごろ市内日本橋通正隆銀行新京支店出納口で東一條通天野商店員宮武清氏が八百圓を預けるべく出納口に出してゐるうちほんの僅かの間に四百圓が抜き取られた奇怪な事件につき新京署司法係では刑事を各方面に飛ばし捜査を續けてゐるが周圍の事情から押して

クライブ卿
軍司令官訪問

滯京中のモーニング・ポスト紙滿洲特派員クライブ卿は本日午後二時軍司令部に菱刈軍司令官と會見續いて大使館に谷參事官を訪問、種々懇談して引揚げた

兒童辨當の
取扱方を講演
「母の會」の催しで

第三回全滿健康週間と同時に兒童營養週間も十五日から廿一日まで一週間新京で行ふ、滿鐵衛生研究所紫藤博士の來京を乞ひ十七日午後一時半から一時間半の豫定で西廣場小學校で「母の會」を催し同氏から兒童の辨當の取扱方に關する講演があるはずだ尚新京地方事務所では十五日午前十時から區長、各小學校長、齒科醫師會代表者等集り健康週間兒童營養週間の打合せ會をなす

庭球大會

（大阪十三日發國通）目下甲子園コートに於て開催中の全日本庭球選手權大會第七日目のシングルス準々決勝戰は十二日舉行されたが結果は左の如く世界第三位の佐藤次郎選手は藤倉選手の爲に一セツトを酬いたのみで慘敗を喫し伊東は山岸にストレートで敗れた

△シングルス準々決勝

西村（慶應）6…1 6…4 6…3 桑原（大澤商會）

布井（神戸商大）6…4 6…5 6…8 6…4 [illegible]藤（俵）

藤倉（明大）6…1 6…1 6…8 6…2 佐藤（次）（早大）

山岸（慶應）6…2 6…1 6…3 伊東（神戸商大）

佐藤次郎選手の敗因は練習不足と最近健康を害してゐた爲である

「物を言ふ犬」の實演
會場は未定

既報、動物愛護會の「物を言ふ犬」の實演は新京高等女學校でとあるけ未だ交渉中で學校側では確答を與へてゐないので場所は決定しておらず變更するやも知れぬと

▲永樂町三丁目二十一號熊出彰太郎氏十一日午後五時四十分死亡

▲新京流星町野地治介氏長女寬子さん十二日午後三時十五分死亡

▲室町二丁目十九番地入江秀晃氏長男崇晃さん三十一日出生

▲常磐町三丁目十一ノ二十八小崎重樹氏二男高史さん七日出生

▲富士町四丁目十二番地[illegible]春次氏三男享さん廿日出生

▲中央通り二十二番地渡邊[illegible]

資源調査に關し（四）

新京署兵事係主任　三橋康豐

工場の經營

工場經營の要素としては先づ原料及材料其他需用品及消耗品の仕入の方法を誤らず品質の鑑別と、貯藏の量と之れが擴充と、變質と減耗を防ぎ、生産品の運搬方法及運搬器具材料を最良のものを採用し諸經費の節約を計る必要があり又市場に於ける需要供給の關係を察知して一般世人の嗜好に適するや否やに就て綿密なる考究をなし見本、銘柄等に適當の處置をなし、取引主の信用を確め廣告又は回章其他適當の宣傳を行ひ世人の注意を喚起し顧客收集と販路擴張等を積極的に計畫せねばなりません。會計は生産状態を審かにし其の利益を詳知し經營上の重點を奈邊に置くべきか常に的確なる識見に依つて工場經濟の改善を圖り、職工其他使用人の健康状態、精神、智能、技術の程度を試驗して最適當なる人物を選擇採用して之を適度に配置して適宜の訓練教育指導を施し勞役に對する報酬及慰安、娯樂等に深く注意を拂ひ、動搖し易からしめ、特に熟練者の保留に努め其の福祉増進的施設に意を用ゐねばなりません。器具、機械等の設備は最有利に最大の生産を擧ぐべき能率の勝れたる原動機及作業機械器具を採用し、土地の状勢と風土の氣候等を顧慮し、採光、照明、換氣、煖房、除塵、濕度の調節等を理想的ならしめ、建築物は最も堅牢を旨とし、作業の環境をして機械能力率を最高度ならしむる如く工夫を凝らし、作業の方法當を得ざるときは理想的の成績を期待し得ざるに依り、勞働を徹底に節約して最良最大の生産を得べき方法を案出し之を統一し、製品の經過を精密に監査し、品質の向上と不良品の渉少を期して能率の増進を圖り、賃金制を合理的ならしめ勞働時間を期止し勞働の最高能率を擧げ益々事業を旺盛ならしむると共に繁榮ならしむべく根本的方法を樹立するを要す尚管理の方針を確定し經營目的の貫徹に如上の要素を結合し科學、心理、經濟的方面より考究して事業の能率を極度に發揮せなければなりません。

日本に馴染みのスパルウイン博士急逝

【ハルビン十三日發國通】ソヴイエート・ロシヤを通じて唯一の日本研究家乃至日本理解者として、日ソ兩國親交の使者の役割を演じてゐた前駐日大使館一等書記官、現北鐵理事會商業部長エブゲニー・スパルウイン博士は去る十日午前九時腸捻轉で急逝した（享年六十四）がスパルウイン博士はレーニングラド大學東洋學部にて早くより日本語を研究してゐたが最近六年間大使館書記官たると同時にソヴイエート對外文化協會日本代表として東京に住み、その間日本語の著書「横目で見た日本」その他を著した

一九三一年十月駐日大使館より北鐵商業部長に榮轉して現在に至つてゐたものである、最近のスパルウイン博士は學生の事業としてロシア人の傷

來月一日より　ハルビン富錦間　自働車輸送開始

【ハルビン十三日發國通】國路總局は松花江の結氷と同時にハルビン富錦（松花江下流）間自働車輸送を開始することとなつたが、右は差當り五十臺の自働車を運轉し廿臺聯絡して兩地點間の交通聯絡を圖る等であるがこれが實現の上は右自働車は氷上を走つて北滿に相應はしい奇觀を呈する事になる

尚右交通聯絡は來る十二月一日頃より開始される筈である

の日本語學研究書の著作に日夜沒頭し、去る八日夜俄かに病勢改まつて北鐵中央病院にかつぎ込まれた時なども執筆中の書齋からタンカで運ばれた程である

松花江岸　討匪工作大成功

【ハルビン十二日發國通】松花江岸依蘭地區を中心とする北滿地方の討匪工作は豫期以上の好成績を收め、今やハルビン、同江間延々四百キロに亘る江岸地域は完全に治安確立し匪影を認めざる狀態となつた、吉林省警備軍顧問東宮少佐よりの報告によれば去る十月中における討伐は前後十二回に亘つたが、討匪狀況を列擧すれば左の如くである、即ち

一、去る十月十日騎兵第八團は樺川縣瓦金別に於て孫旅長の匪團千六百名と交戰、これを擊退した、この戰鬪で敵の戰死十名

二、十三日歩兵第六團第二營は樺川縣仙堂に於て前記孫匪と遭遇、之れを潰走せしむ、敵戰死五名

三、同十四日前記討伐隊は依蘭縣八家子に於て匪首五龍の匪團を擊破

四、十九日同隊は依蘭縣沙魚亮に於て匪首大興字の部下六十を潰滅

五、十七日騎兵第四團は富錦縣双鴨山に於て鎭江匪七百と交戰擊退、敵戰死廿一、匪首鎭江もこの戰鬪に斃る

六、十九日依蘭縣馬蹄溝に於て青山匪を討伐、敵戰死七

七、廿一日歩兵第一營は依蘭縣青山溝子に於て李華堂並に兩仲宇の率ゐる雜匪を討伐、敵の戰死十二

八、廿二日騎兵第八團は寧安縣二道河子に於て李華堂の指揮する騎馬匪二百と激戰

我方の損害兵負傷一名、軍馬四敵戰死四

九、廿三日牛營長の歩兵團と依蘭縣小殺道に匪首滿天飛の匪團と遭遇

十、廿四日歩兵第六團第二營は依蘭縣鼎山屯にて匪團南洋大號三百と交戰擊退敵戰死七

十一、廿六日騎兵第一連は依蘭、方正二縣境界田家屯に於て南洋匪三百と激戰我方戰死二名、負傷五名、敵の損害不詳

十二、廿六日騎兵四團は樺寶縣李金園子に於て雜匪を討伐した

大歌舞伎初日藝題（其二）

東西合同大歌舞伎初日十五日夜の藝題のうち三番目三勝半七心中女舞衣ならびに大切り、所作事紅葉狩の筋書ならびに配役は左の通りである

歌舞伎座の一花形女優

大和五條の町人赤根屋半七には唯助といふ義理の弟があつた、唯助は小才の利いた山氣たつぷりの男で同納の下市堺の天領の杉山の拂下げを受けて失敗し、その穴埋めのために自家の借家六軒を二重抵當に入れて東條の金貸源兵衛から二百兩を借入れこれを資本に又杉山十町歩の拂下を受け下知書を變造して二十町の山を切出した處がこのことが薄々代官所へ知れて來たので半七の叔父松見五左衛門といふ下役人が秘かに半七に告げ、その善後策として改めて半七の手で二十町歩の拂下を願ひ既に唯助が盗伐した十町歩を其の中に含めて役人の手前を繕ふといふ方法を教へたので半七は拂下の上納金四百兩を才覺するために、師走初めの雪降りの日もいとはず大阪へ向つて旅立ちした

それから數日の後、盗伐した杉材は筏に組んで流されそれが和歌山につくと直に金になるといふ間際、盗伐の不正事件を知つた金貸の源兵衛は俄に返金を迫る、のみならず半七の妻お園に向つて十二月六日まで待つ代りその日に金が出來ねば赤根屋から暇を取つて自分の妻になれ、それがいやならこの事件に自分が無關係であることを明かにするため代官所に訴へると脅迫する折も折、豫て材木賣買の契約がしてあつた和歌山の問屋三輪屋清左衛門も不正事件を知つて契約を取消したので赤根屋一家は三方四方の破綻を生じ中に立つて留守を預かるお園は死んで夫に云譯けするより外に途はない破目となつた一方半七はこんな騒動は夢にも知らず大阪中を駈廻つたが金策は出來ず、弟のため叔母のため自ら罪を引受けて處刑を受ける決心で七年越しの深い關係を持つ高津の芝居の女役者三勝に永の別れを告げに行つた、ト案外にも三勝は容易く四百兩の金の融通を引受けて呉れ始めて安堵の喜びに浸つたがそれも束の間、偶々届いたお園の手紙で事の破綻と女房が十二月六日の初夜の鐘を合圖に故郷の菩提寺で自害する事を知り絶望の極、半七と三勝は下難波村の畑道の傍（今の千日前）で心中したこれは元祿八年十二月六日の夜の出來事であつた

一半七女房お園　中山延見子
一嬶母おかね　中村高三郎
一丁稚清三郎　嵐　三吉
一三輪屋清工門　嵐　妻五郎
一借家人徳兵衛　大谷友二郎
一同才兵衛　尾上多三郎
一同金藏　嵐　松三郎
一手代太助　中村　吉若
一同久七　嵐　三幸
一東條源兵衛　片岡松右衛門
一義弟唯助　尾上多見丸
一伯父松見五左工門　中村　信濃
一赤根屋半七　嵐　三五郎
一姉お蝶　澤村いろは
一弟子花勝　中村粋三郎
一同勝美　中村　胡蝶
一同小勝　嵐　三幸
一同将棋　嵐　三吉
一狂言方留吉　嵐　三昇
一舟宿手代與兵衛　市川荒市郎
一太夫元八右工門　市川海老十郎

○四番目紅葉狩竹本長唄常磐津掛合　戸隱山の鬼女の傳説を仕組しものにて、平維茂は郎黨二人を從へ戸隱山の奥深く紅葉狩に分け入るかなたの幔幕の内から更科姫とて世にも稀な美女が現れて維茂に盃をすゝめ差手引手鮮かな舞ひ舞ふ、維茂はうつらうつらとした心地になつてしばし其場にまどろむ所へ山神が現れておこ告げに人喰ふ鬼女が出沒するゆゑ用心せよといふ、維茂が覺めて我に歸れば更科姫は鬼女の正體を現して喰つてかゝる烈しい立廻りの後平家の重寶小烏丸の威徳で鬼女の通力は失せて討ちとらる

一餘吾將軍平維茂　市川海老十郎
一從者運平　中村高三郎
一同八内　賀川延吾
一山神の靈　尾上多見丸
一侍女望月　澤村いろは
一同田毎　中村粋三郎
一腰元雅水　中山　晃枝
一同松代　嵐　三幸
一同野菊　嵐　三昇
一同初雪　中村　吉若
一同小荻　中村　胡蝶
一同桔梗　嵐　三ッ尾
一同松風　中村曉之助
一同鈴虫　市川市壽丸
一更科姫實ハ戸隱山の鬼女　中山延見子

ラヂオ

十五日（水曜日）

午前十一時〇五分（奉天より）滿　音

午後五時〇分　子供の時事（滿洲語）

同　五時三〇分　ニュース（英語）

同　五時四〇分　ニュース（露語）

同　五時三〇分　ニュース（鮮語）

同　六時二〇分　ニュース（東京より）

同　六時四〇分（滿洲語）講師高宮瑟逸　語學講座

同　六時四〇分（日本語）同　語學講座

同　七時　〇分　演藝　植松金枝

一、武昭關　唄李富貴女　胡琴大鼓賈文君女

二、紅樓夢　唄大鼓賈君女文女

同　七時三〇分（滿洲語）協和會　李春城　講演

南陽調　双玉出　滿堂（滿洲語）演藝

同　八時　〇分　ニュース　氣象豫報、番組豫告（滿洲語）

同　八時三〇分　時報（東京より）

同　八時三〇分　ニュース（東京より）

同　八時四五分　ニュース　氣象豫報、プログラム豫告

同　九時　〇分　演藝　新京戯院より中繼（滿洲語）

鮮魚相場

品名	値	品名	値
活鯛	八五	氷鯛	二六
チヌ鯛	二六	甘鯛	二八
小鯛	一五〇	鮪	七〇
カツオ	一八	ニベ	二〇
ブリ	一二	ヒラス	二一
サハラ	三六	スヾキ	一三
サバ	一三	カレイ	九
ヒラメ	二〇	コノシロ	一三
キス	二〇	イワシ	一〇
アナカツ	六〇	タチ	一三
ハゲ	四〇	オコゼ	一九
アコウ	二六	サヨリ	四〇
ホーボ	一九	タコ	一八
イヒタコ	一二	甲イカ	三三
水イカ	三三	セヱビ	一〇〇
車エビ	七二	カキ	二〇
ハモ	一〇	アナゴ	二六
ナマコ	一〇	アワビ	二六

蠻黨船往來

映畫上映及上演　（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第百七十六回　第二の純潔（四）

——おや——

とおもつて、われにかへる千代の耳もとへ、つゞいて、ふたゝびみたび

ぐわん！ぐわん！といふ、烈しい衝撃の音。

千代は、たのしい死をとつぜん奪つたこの怪しい物音と、いしく爭鬪するやうな氣배へで、いさますぢまでつかつた狂ほしい水の中から雄々しくもふるひ立つた。

ぐわん！ぐわん！……

敵ひ手か魔手か、船ていの闇では判明せぬが、背後に續けさまに起ること衝撃は、海の怪異でも暗礁の仕業でもなく、まさしく人間の業にちがひない。しかも、それは船底の仕切の板壁か扉を破壞してゐるらしい物音だ。

ぐわん！ぐわん！

烈しい物おとだが船室の彼方へは響かぬらしい。誰一人この船ていへ降りてくるものもないらしい。

千代は、殺到する水の中に突立つて、その衝撃の結果を靜かに待つた。死をいそぐ彼女に、いまはたつたひとつの生の興味だ。

ぐわん！ぐわん……

が、やがてその物すごいおとがはたと止まると、次いでベリベリといふ引裂くやうな、むしろ陰惨なおとが彼女の好奇を一段とそゝるやうに湧き起こつた。

その物おとがどうしても彼女には自分の味方のやうにきゝとれるのだつた……

——もしやお愛さまでは……。

そんな架空に近い望みが彼女の胸を去來した、わづかに引つかゝつた、生の興味がその奈黨を傾けて彼女を生の執着へふたゝび引摺つてゆく。

千代は狂ひ廻る水を掻き分けて物おとのする方に近づいていつた。

と、人の氣配を知つてか、物おとの主は、はたと鳴りを鎭めてしまつた。十分に周圍に警戒しながら、何事か敢行してゐるらしい。

『ど、誰方です』

もう敵も味方も彼女にとつては怖るゝものはない、勇敢にこちらから聲をかけた。

が、相手はやはり押し默つたまゝである。

『誰方です？そこにいらつしやるのは……』

まさかお愛ではあるまい、紅毛人の一人にちがひはあるまい、紅毛人であつたら、それに押へられぬ前に自決しよう、渦まく水の中へ姿を消して死んでしまはうとまで、覺悟をきめて聲のする方へ進んでゆくのだつた。

『誰方です』

みたびたづねると、こんどは、やつと物おとの主は聲を發した。

『おれぢや』

まさしく人の聲だ。

しかも、凛とした若々しい響のある聲だつた。

『えッ！』

千代には、その凛々しい聲で、立派な日本人の姿を想像することができた。

愈々今十五日より!!

錠劑
わかもと
胃腸
榮養
WAKAMOTO
抵抗力自力癒力を
昂める短期療法
現代の治療界におけるもつとも大きな貢獻は、ヘーフエ療法の出現であります、ほとんど化學製劑萬能で、わづかに乳酸菌の如き生活力微弱な生物製劑を有するに過ぎなかつた治療界に、新しき藥用黴生物ヘーフエは彗星の如く現れて、榮養と治療をかねた、燦然たる効果を示しました。そのヘーフエ菌劑の開拓者こそは、澤村帝大名譽教授によつて發見された『錠劑わかもと』であります。
活力の昂進
『錠劑わかもと』のもつとも力強き特色は、豐富なる各種榮養素、ヴイタミンA、B、C、D、諸種アミノ酸、グリコーゲン等と、デアスターゼ、リパーゼ、プロテアーゼ、ラーブ、其他の活性酵素等の複雜なる諸成分の綜合作用によつて、新陳代謝を旺盛にし生體活力の全般的昂進を見ることであります。從つて胃腸疾患に用ひますと胃酸過多症に對しては過剩な胃液の分泌が自ら制限されて、空腹時の胃痛を緩解し、胃アトニーに對しては、弛緩せる胃壁筋肉を賦活して、食後の膨滿感を消退せしめ、又飲食物中毒による下痢も、常習便祕も自然治癒に導くことになります。
溶菌素の增加
更に結核患者に對しては體内に溶菌性物質を增加させて、結核菌の勢力を挫き、結核菌毒素の發生を阻止して、結核患者に特有の食慾不振、下痢等の胃腸障碍を解消しますので食慾は增進し、便が整ひ、發熱は階段的に下降し、疲勞感が消失して、抵抗力の增進、自然治癒力の昂上を實現するに至ります。
今や天高肥馬の候、病弱者はこの天地自然のリズムに順應し、本劑によつて健康への飛躍を試みられこんことを。
本劑の權威
本劑はヘーフエ菌劑の始祖で、その治療成績によりヘーフエ菌劑の効果を學界に承認され、ヘーフエが日本藥局方に登載さるゝに至りしに與りて力あり、日本の醫藥を世界に向つて代表する製劑である。
藥價低廉
三百錠入 一圓六十錢
ポケット用新製鑵入 五十錢
千錠入(八十三日分) 五円
發賣元 榮養と育兒の會
東京市芝公園大門際
振替東京一七〇〇番
電話芝(代表)一一七五番外六本
海外代理店 三井物産株式會社
家庭用
卓上容器
(實物大三分の二)
全國藥店にて
無代進呈
日頃の御愛用に報ゐるため
卓上容器百八十萬個の提供
日本全國及滿洲國の藥店にて「錠劑わかもと」大小に拘らず一瓶御買求め毎に一箇づゝ進呈。
體裁は松波模樣を配した金銀新蒔繪の高尚美麗のもの、これに小出しして卓上にお置きになれば大瓶を常に開栓して濕氣を引かせる心配もなく藥瓶をむき出しにして卓上におく殺風景も免がれます。『錠劑わかもと』御愛用の方には便利重寶この上もないものです。
期限は十一月三十日まで、數量に限りあり、賣切れぬ内にお早くお求めを願ひ上げます。